

果樹カメムシ類発生量調査

調査日平成18年 8月 1日

調査地点：島根県出雲市芦渡町

概況：7月4、5半旬は雨が多く気温も低かったことからカメムシ類の誘殺数は少なくなりましたが6半旬になり天候も回復し再び気温（夜温）が上がったことから、カメムシ類の活動が活発となり、チャバネアオカメムシフェロモントラップ及び予察灯での誘殺数が増加しています。また、本年は予察灯において7月6半旬にクサギカメムシが176頭（平年44.6頭）と平年に比べ多く誘殺されています。被害果は7月26日の巡回調査において被害果率0.4%（平年1.4%）と現在のところやや少なく推移しています。

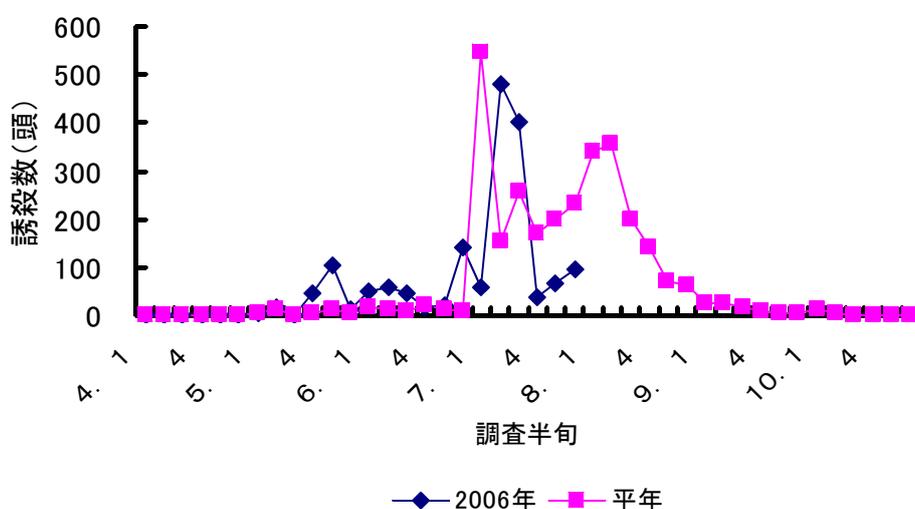


図1 チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数

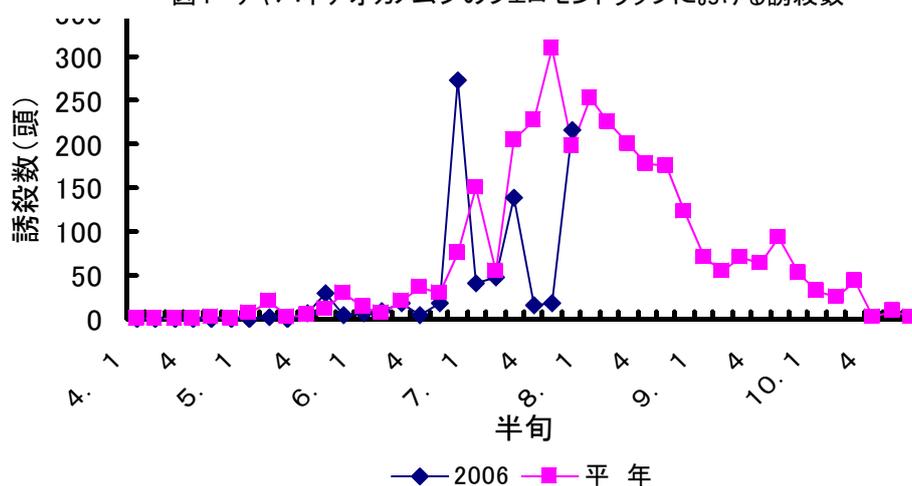


図2 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数

参考：フェロモントラップによるカメムシ調査はチャバネアオカメムシのみをフェロモンによって誘引し誘殺数を数える調査です。
予察灯による調査は水銀灯に集まるカメムシ（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ）を数える調査です。

次回更新8月8日予定